

きっちり稼げる
仕事です

パズルを解くみたいな
爽快感がある

千代田テクノシップ株式会社



パイプの修理とアップデートに 特化した専門家集団

新しい機材を入れたいが入らない。あるいはパイプを繋げたい。
この会社はすでにある船のパイプを改造・修正して
船のパイプの問題にソリューションを与えています。



1. JMU磯子という場所柄、扱う船の7割近くが艦艇
2. JMU磯子工場内の内作工場
3. 船の中は水・排水・電気系統などのパイプだらけ。それを使い勝手がよいように改造するのは指南の技
4. 博物館員から転職して「毎日やりがいを感じています」



こんな仕事です

船では自前でライフライン(上下水道、電気など)を通してあるので、あらゆるところにパイプがあります。このパイプを修理したり、改修を行うのが仕事です。設計図に従いパイプを切断、クレーンで船内に持ち込んで溶接しますが、船内は狭いため、柔軟性や熟練のテクニックが必要な溶接作業となります。



内作工場内でパイプを加工

船上でのパイプ溶接作業

会社情報 Company profile

会社名	千代田テクノシップ株式会社
業種	船舶製造・修理業
代表者	代表取締役社長 川田 利博
会社住所	東京都中央区新川1丁目1番1号 飯田ビル3F
社員数	14名
平均年齢	38歳



採用情報 Recruit information

職種	艦装・配管
職務内容	修理船・新造船の艦装・配管工事
勤務地	横浜市磯子区新杉田12番地 JMU横浜事業所内
勤務時間	08:00~17:00 (休憩12:00~13:00)
給与	賃金形態:日給10,000円~14,000円 月額換算・月平均労働日数20日 200,000円~280,000円
休日	土曜日、日曜日及び祝祭日 夏季休暇及び年末・年始休暇
各種手当	交通費・時間外・休日出勤
保険等	雇用・労災・健康・厚生
応募資格	44歳以下(学歴・経験等 不問) ガス溶接・アーク溶接あれば尚可
応募方法	自由応募
問合せ先	東京都中央区新川1-1-1 千代田テクノシップ株式会社 03-3551-4200 川田

突撃ライターが
ずばり社長に聞いた！

千代田テクノシップはどんな会社？

「どんなパイプも『繋げてみせます』」

モナコの王子様から大手企業CEOまでいろんな社長を取材してきたライターが社長にインタビュー。
わかりやすく会社のことを説明してもらいました。



「船の中ってスペースが限られてますよね。機材が新しくなったりしても、家みたいに増築して船の形を変えることは不可能です。なので、そこにつなぐパイプを工夫するのが、当社の仕事です」と教えてくれたのは千代田テクノシップの川田社長。例えば、元々据え付けていたポンプが小さく、もっと機能が大きく大きいものと入れ替えることになった、等の時に仕事を担う、というわけです。

船のインフラを 修理改造する大事な仕事

そもそも船は上下水道、電気などのインフラを自前で備えているので、船内を走っている配管の数は陸上

とは比べ物にならない数です。

「作業としては設計図に従い、JMU機子内にある内作工場で作られたパイプを船内で組み立てます。とはいえ、船内もいろいろ制限があるので、現場でパイプの端と端が合うようにする工夫と知恵は必要です」

研修制度もあります

必要となる技術はガス溶接、アーク溶接、床上クレーンなどです。基本的なものは3か月の試用期間中にJMU内にある東日本造船技能研修センターで取得が可能です。

「けっこうテクニカルな仕事なので、元々何かの資格を持っている人が応募してくることが多いです」

アーク溶接でもなんでも、資格をもっていたら応募して欲しいですね」

パイプをばらして設置するまで約1か月ほどかかります。

「モノづくりと工作が好き人には絶対に向いていますね。あとパズル的な解決が出るものに興味があればぜひ」

経験を積みれば積むほど、解決が速くなっていくそうです。



千代田テクノシップ株式会社 川田社長
「JRの駅から近い機子は便利です」

社員が
本音で語ります

ここに仕事のやりがい、あります

工夫して繋がると「やった！」

「造船の溶接もいろいろありますが、新造船ではなく、もうすでに出来ているところに入ってパイプをつなげるのは職人として難易度が高く技術が要求されます。いろいろ工夫して仕上げられると、満足感が半端ないです」(30代男性)



稼げる仕事です

「自分は元々コオロギの研究をしていて、昆虫専門の博物館で学芸員をしていたんですが、結婚を機に『きちんと稼げる仕事』ということで、高校時代に取得していた溶接の資格を元に転職。この転職は大正解でした。収入面だけでなく、ものづくりの満足感が得られます」(30代男性)



大手のJMUだから働く環境がいい

「ランチを取る場所も明るくて、仕出し弁当もけっこう種類が選べて美味しいです。あと、終わったあとにシャワーや風呂を浴びて帰れます。JMUは作業着での通勤を原則禁止にしているので、仕事が終わったら風呂入って着替えて、そのまま友達と遊んだりできます」(20代男性)



優しい先輩

「一見体育会系に見えますが、実は先輩も優しいです。素直に分からないことは『分からない』と聞けばちゃんと教えてくれます。会社全体が向上心がある人をきちんとサポートしようという姿勢です。自分は小柄で力はないんですが、だからこそ出来る仕事があると分かり自信もつきました」(30代男性)



艦船に関われる

「この造船所の仕事の7割は自衛艦や海上保安庁などの船なので、この会社でも修理するのはそういった船が多いんです。自分が修理した船がTVに出たりすると、ちょっと自慢したい気持ちになりますし、自衛官に『ありがとう』と言われるのは嬉しいです」(40代男性)



こんな人に ぴったりの仕事です！

- 元気に挨拶できる人
- 柔軟性が高い人
- アーク溶接など溶接の資格を持っている人
- 取得資格を増やしたい人
- 一生食べていける技能を磨きたい人

会社の日常を
のぞいてみた！

スケジュール

- 07:30 出勤
- 08:00 朝礼と体操
仕事開始
- 10:00 休憩
- 12:00 昼休み
- 13:00 午後の
仕事開始
- 15:00 休憩
- 17:00 仕事終了
- 17:30 翌日の
準備をして
帰路へ

9つの資格が
取れました!

100mのケーブルを通す
達成感!

株式会社うえみや



船の電気関係全般を担う 造船業の電気会社

海を走行する船は自前で電力供給・配電のシステムが必要。
この会社は船に特化し、電気関係全般を担っています。
そこには長年積み重ねてきたノウハウと職人の技術があります。



1. 船上には電力会社が電気を供給できないので自前でまかなう仕組み
2. 電気工事は造船の最終段階なので、狭いところでの作業が多い
3. ケーブルの種類も多種
4. ケーブルは結束して分かりやすく
5. 船の一番上のこの部分からケーブルを通していく



こんな仕事です

船は自前で電気を供給するシステムが必要。
うえみやが行っているのは地上だと「電力会社＝電力供給」「電気工事工務店＝電気工事」と分業化されているもの全部です。電線だけではなく、光ケーブルなどケーブル類全般を船の中に設置していく仕事です。溶接、配線、機器設置、試験調整と主に4つの仕事があります。



巨大な発電機から電気を供給



レーダーなどにも電気を供給

会社情報 Company profile	
会社名	株式会社 うえみや
業種	船舶電装および物流
代表者	代表取締役 上宮健三
会社住所	〒235-0032横浜市磯子区新杉田町12 JMU横浜協会の内
社員数	50名 (下請け等込み)
平均年齢	35歳



採用情報 Recruit information	
職種	船舶電装
職務内容	設計・金物取付・電線布設・結線・試験調整
勤務地	JMU横浜事業所
勤務時間	8:00~17:00
給与	208,000~256,000/月
休日	週休2日、祝日、ゴールデンウィーク、夏休暇、年末年始
各種手当	通勤手当・残業手当等・休日出勤
保険等	社会保険・厚生年金・雇用保険
応募資格	30歳ぐらゐまで(未経験) 60歳ぐらゐまで(経験者)
応募方法	面接
問合せ先	http://www.uemiyama.co.jp

突撃ライターが
ずばり社長に聞いた！

うえみやはどんな会社？

「船の電力会社。ないと船が動きません」

モナコの王子様から大手企業CEOまでいろんな社長を取材してきたライターが社長にインタビュー。
わかりやすく会社のことを説明してもらいました。



見よ、この配電盤。船全体に電力を供給するのでここまで複雑になる。海上保安庁や自衛隊などの艦船を主に手掛けています。

「例えば地上で家を建てると、東京電力さんが電力を供給している電線がそこまで来ていて、家の中にコンセントを配したりするのは電気工事専門の工務店がやったりしますね。船は船内で発電して電力を供給しなくてはならないので、ウチの会社は供給と配電の両方をやっているといえば分かりやすいでしょうか」と説明してくれたのは株式会社うえみやの上宮健三社長。

電気工事の資格は船では必要なし

JMU磯子の造船所に本拠地があるこの会社では、主に艦船の電気関係を一手に引き受けています。「仕事には4つあって機器台、電路

の金物を溶接で取付、電線を配線していく電線布設、機器取付と結線、最後に設備を動かしてみる試験調整ですね。船に使う電線はあとから継ぎ足しはできないので、計算された必要な長さのものを船の一番高いところから船底まで入れるのですが、多くは100mもの長さになります。船は入り組んでるので、人力で」
びっくりしたのは、船での電気工事には電気工事士の資格は必要ないのだそうです。「基本的な電気の知識は入社後学べます。陸上の電気工事と大きく違いますし、陸上のは都道府県知事が発給する資格なんですよ。船は…海に浮いてますから(笑)」

本当の専門職人になれる

器具設置の際に溶接などの技術も必要になってくるため、入社したらまずはJMU磯子が共同で行う東日本造船技能研修センターで3か月の研修を受けます。「それに加えてフォークリフトなど必要な資格の取得は、必要に応じてサポートします。全部で9つ資格取った人もいます」

専門的な知識と一生食べていける技術を身に付けられること間違いなしです。



株式会社うえみや 上宮健三社長
「私は二代目、元は因島でした」

社員が
本音で語ります

ここに仕事のやりがい、あります

狭い場所をやりきる達成感

「電装は造船の最終段階で、船がもう出来ているところに入って設置していくので、『こんなところでやって通すんだ』っていうようなところでパイプを溶接したりします。小柄で柔軟性が高い自分を買ってそこを振られると燃えますね」(30代男性)



綱引きのような共同作業

「高圧ケーブルは太くて重く、綱引きの綱ぐらいあります。それを船の中を縫うように通していく作業は、総勢50人近くの総出作業となり、本当に綱引きみたいです。電気といってもいろんな作業があるので、飽きないですね」(30代男性)



JMU磯子ならではの働きやすさ

「JMUさんはやはり大手なのと、艦船をやっている自衛隊の方たちも出入りしているので、働く環境がきちりと整っています。食堂も明るくてキレイだし、メシも安くて美味しい。あと、仕事の後所内の大浴場で汗を流してさっぱりと帰れます。BBQ大会もあつたりします」(40代男性)



蓄えた専門知識で働き方が自由に

「自分は一回この会社に入り、数年働いた後、海外に住んでみたいと退社。ワーキングホリデーでオーストラリアに住んだ後戻ってきて再入社しました。他の会社を早期退職したあとこの会社で働いている先輩もいます。いろんな人を受け入れてくれるいい会社です」(30代男性)



特別な船を手がけている誇り

「自衛艦、海上保安庁の船もそうですが、商船でもJMU磯子で扱う船は特徴的なものが多いです。海中の基礎工事を行うための作業船だったりします。TVとかで映ると『あ、あの船』とすぐ分かり、家族や友達に自慢できます」(40代男性)



こんな人に ぴったりの仕事です

- 元気な人
- 特に握力に自信あり
- 自分で考えて仕事したい人
- 電気が好き
(電気科など専門知識があればなお良し)
- 一生食べていける専門職に就きたい

会社の日常を
のぞいてみた！
スケジュール

08:00

朝礼と
ストレッチ体操
仕事開始

10:00

休憩

12:00

昼休み

13:00

午後の
仕事開始

15:00

休憩

17:00

仕事終了

今造ってる船は
氷河を走ります

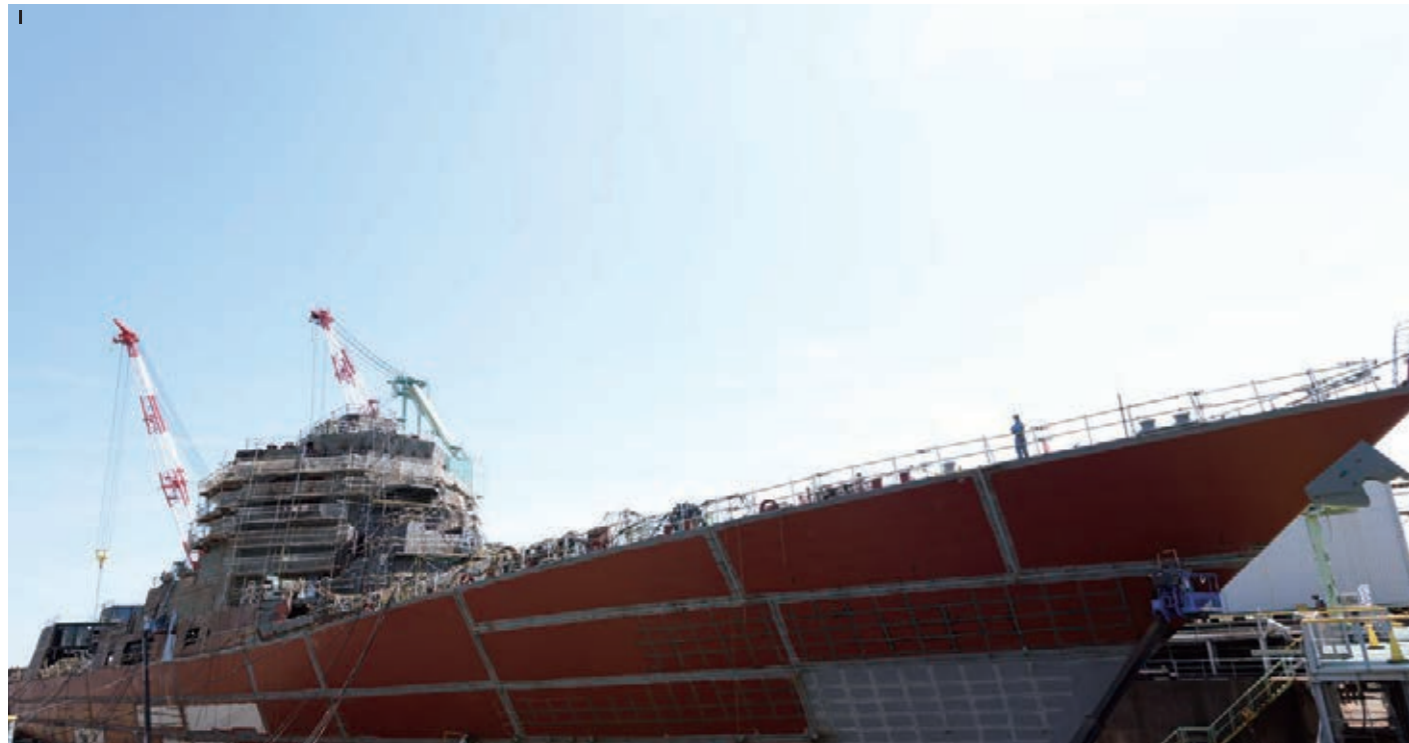
ビルの大きさを
溶接で造る快感

株式会社セイワ



最も耐圧が必要な部分を任される 造船溶接のスペシャリスト

船で一番力がかかる部分ってご存知ですか?それは動力=プロペラ周りを支える部分。
セイワはプロペラ周りや氷上船(アイスブレイカー)の船首部分など
一番圧力がかかる部分をきっちり仕上げる会社です。



1. 外板を溶接中のイージス艦。一番耐圧が要求されるプロペラ周りのブロックなどを担当している 2. 港の中のケーソン(防波ブロック)を溶接中 3. JMU 磯子造船所内に工場がある 4. ケーソンの高さはビル6、7階ほど、巨大!



こんな仕事です

もし船がレゴで出来ているとすると、まさらの状態から1個のレゴブロックを作りあげるように、何も一枚の鉄板を切り出し、骨組みを作り、溶接して制作する仕事です。造船の中でも一番厚い鉄板が必要なプロペラ周りや船首部分などを手がけることが多く、特殊な機器を扱い、経験を積み重ねます。



ビル6、7階くらいの高さの巨大なケーソン



船のブロック

会社情報 Company profile

会社名	株式会社セイワ
業種	船舶造修業
代表者	古川 誠
会社住所	東京都江東区大島5-8-12
社員数	20人
平均年齢	45歳



採用情報 Recruit information

職種	船台ブロック、組立、溶接
職務内容	
勤務地	横浜市磯子区JMU横浜事業所内
勤務時間	8:00~17:00 休み時間12:00~13:00
給与	20万~30万
休日	土、日、祝日(JMUカレンダー)
各種手当	交通費(上限3万円)夏期、冬期手当
保険等	社会保険、雇用保険
応募資格	18歳~50歳 未経験者、経験者優遇
応募方法	電話、面接
問合せ先	(株)セイワ 045-753-0352 古川善紀

突撃ライターが
ずばり社長に聞いた!

セイワはどんな会社?

「レゴでいうとレゴブロックを造る会社です」

モナコの王子様から大手企業CEOまでいろんな社長を取材してきたライターが社長にインタビュー。
わかりやすく会社のことを説明してもらいました。



セイワは溶接のスペシャリスト、特に300mmもの厚い鉄板を必要とする作業ならお任せ。鉄板は厚いほど作業がしづくテクニックが必要となってくる。

「今造っているケーソンの溶接ですが、あれはクレーンで持ち上げるための取っをつけてるんですね。重量物なのでクレーンで持ち上げるんですが、その取っです」と教えてくれたのはセイワの古川社長。中にコンクリートを入れ完成すると6、7階のビルの大きさになる巨大建造物、圧倒的な大きさです。

巨大なものづくりの職人集団

「セイワはレゴで出来ている船があるとしたら、レゴブロックそのものを造る会社です。また、レゴもさまざまなパーツがあるように、何も鉄板からさまざまなものを造っていくんですが、一番厚い鉄板が必要なプロペラ周りや、アイスブレイカー(船首で氷を砕きながら進む氷上船)の切っ先の

部分とか、そんなものを手がけています」

ちなみに船の1つのブロックは4m以下のものが多いそうですが、とにかく素材の鉄板が厚いので、特殊な機材と作業のノウハウが必要です。

「アイスブレイカーの船主は北欧の会社ですね。こういう技術を持っているところはなかなかない、ということでもウチに発注が来ます。そういう特殊な船のオーダーが来ることが多く、世界中の海を手がけた船が走っています」

初心者でも研修あり

入社したら最初は JMU 磯子内で開催している東日本造船技能研修センターで3か月講習を受けます。「基礎から通して受講できるので効率よく必要な資格はそこで取得できますし、そ

で同期の仲間が出来るみたいです」

社内も仲良く旅行や BBQ などの企画も行っているそうです。



株式会社セイワ 古川誠社長
「出張もありますよ」

社員が
本音で語ります

ここに仕事のやりがい、あります

艦艇、達成感あります

「溶接したパーツを船に取り付ける取付作業は必ず4~5人で組んでやる仕事で、チームワークが大事です。1つの失敗が事故につながる。特に難しいのは自衛艦などの艦船ですが、チームで成し遂げたときの達成感は半端ないです」(30代男性)



他ではできないことにチャレンジ

「他の会社が出来ないことにチャレンジするのは気持ちいいです。例えば今造ってるアイスブレイカーとか、造りながらこの船切っ先が北極とかの氷を割りながら進んでいく様子を想像すると、やりがいがありますね」(50代男性)



レクリエーションが充実

「JMU磯子の研修システム、東日本造船技能研修センターが出来てから、他の会社でも一緒に遊ぶ友達出来ました。この会社内でBBQやったり、従業員で会を作って旅行に行ったり。全部自発的にやっています」(30代男性)



元アパレル店員ですがハマってます

「元々服が好きで雑誌『Men's Club』に出てくるようなブランドのショップに勤めてたんですが、もっと稼げる仕事がしたいと考え転職。元々体育会系レスリング部だったので、自分を活かせる仕事でした」(30代男性)



自分が作ったものがTVに出る

「TVで自分が関わった船が出るのは最高の気分です。ものづくりが好きなら絶対感動する瞬間ですね。半自動溶接のオペレーターとか、力が必要じゃない作業もあるので、女性の後輩が入ってくるといいなあ」(30代男性)



こんな人に ぴったりの仕事です

- モノづくりが好き
- 進水式やTVなどで自分の仕事に感動したい
- 体育会系の部活に所属していた
- チームで仕事するのが好き
- 造船に興味がある初心者(研修あり)
- 溶接などの資格を持つ壮年

会社の日常を
のぞいてみた!

スケジュール

- 07:30 電車でお勤
- 08:00 朝礼と体操
仕事開始
- 10:00 安全反省
時間
- 12:00 昼休み
- 13:00 昼礼
午後の
仕事開始
- 15:00 安全反省
時間
- 17:00 仕事終了
- 17:30 翌日の
準備をして
帰路へ
- 18:00 帰宅

プラモデルの
実物大モデルを造ってます！

トランプ大統領が乗った船も
手がけました！

株式会社真下工業所



自衛艦・海上保安庁など 艦船の艤装をがっちり担う

本当に本物の自衛艦、造っています——
神奈川県横浜市磯子区にあるJMU磯子は7割近くが官公庁の造船所。
そこで艤装を行うのが真下工業所。本当にすごいもの造ってます。



1. 作業中のイージス艦。真下工業所は船装チーム、機装チーム、地上チーム、修理チームと分かれています
2. 左が社長の真下勝利さん。若い社長です
3. 戦艦ものの映画で見たような風景。自衛艦は乗務員が修理を行えるようコードなどがむき出しになっているものが多い
4. 艤装作業
5. 狭いところで器用に切断作業



こんな仕事です

自衛艦、海上保安庁などの船を造ったり修理したりする仕事です。プラモデルでいうと「パーツをカッターで切り取って接着剤でくっつけて船を作る」=「切り出した鉄板を溶接して船を作る」という作業をします。船内に必要な備品を「船舶艤装品」と言いますが、それを制作したり、溶接で船内に設置したりも行います。



イージス艦上での機装作業

自衛艦内のパイプの取付

会社情報 Company profile	
会社名	株式会社真下工業所
業種	造船艤装業
代表者	代表取締役 真下 勝利
会社住所	本社 千葉県浦安市美浜3-13-4 横浜事業所 神奈川県横浜市磯子区新杉田町12
社員数	21名
平均年齢	42歳



採用情報 Recruit information	
職種	生産工程職（溶接・機装・配管・仕上）
職務内容	機器取付・配管工事一式・機装品・溶接工事・船体修理・機関修理
勤務地	横浜事業所 神奈川県横浜市磯子区新杉田町12
勤務時間	8：00～17：00（休憩1時間）
給与	190,000円～220,000円（時間給1,100円～）交通費上限20,000円（新人）
休日	土日（年末年始・夏季休暇・その他・シフト制）
各種手当	無し
保険等	雇用・労災・健康・厚生
応募資格	18歳以上
応募方法	履歴書/面接
問合せ先	電話番号 045-762-1613 担当 真下

突撃ライターが
ずばり社長に聞いた！

真下工業所はどんな会社？

「プラモでいう1:1モデルをガチで造っています」

モナコの王子様から大手企業CEOまでいろんな社長取材してきたライターが社長にインタビュー。
わかりやすく会社のことを説明してもらいました。



艦内でパイプの取付・溶接作業。パイプなどの必要なパーツを取り付けていく。これは真下工業所内の「艦装チーム」が行っています。映画『海猿』シリーズのセットの世界や…。

「艦船の多くを手掛けています。分かりやすく言うと、この前トランプ大統領が来た時に乗った船『かが』も僕らが造りました」とひょうひょうと話す真下勝利社長。真下工業所は横浜市磯子区にあるJMU磯子内をメインに船舶艦装全般を行う会社です。

艦船に要求される高い技術が誇り

「もちろん自衛艦だけでなく、普通の商船も造っています。例えば、183m12階建てのクルーズ客船『ぱしふいっくびいなす』とか。でもJMU磯子自体が艦船メインの造船所なんで、うちの会社もほぼ自衛艦とか海上保安庁の船が多いんです。よく冗談で『1:1の戦艦プラモをガチ

で造っています』と言ってます(笑)。ウチはJMUが東京にあった先代の時代から仕事していますから」
主な業務内容は艦装ですが、初心者でも大丈夫。入社後はJUM磯子内の東日本造船技能研修センターの3か月コースに通い、基本的な技術を学び、ガス溶接、溶接、玉掛けなどの必要な資格を取得できます。その後現場での実務となります。

最先端な技術と組織

「資格がとれても、技術が一人前になるには10年くらいかかりますかね。だからこそ将来を見据え、本気で人を育てて、仕事しやすい環境にしています。ウチは会社とかによく

あるトップダウン式(ピラミッド型の組織)ではなく、プロジェクトチーム型なんです。必要に応じて横断的にチームを組成するんですよ。一人一人の技術が大事な会社ですからね」
現場では紙の図面ではなく担当者1人1人にノートPCが渡され3Dの図面を確認しながら取付作業していました。最先端の風が吹いています。



株式会社真下工業所
真下勝利社長
「ホンモノ『自衛艦』
造っています」

社員が
本音で語ります

ここに仕事のやりがい、あります

艦船の乗員にお礼言われる！

「自衛艦など艦船は一年に一度定期点検で入港するので、渡して終わりではありません。その時に前回自分が作業した個所の具合などを見られます。すでに馴染みとなった乗員さんに『ありがとう!』と言われると嬉しいですよ。仲良くなって一緒に飲みに行くこともあります」(40代男性)



自衛艦ならではの技術

「自衛艦の内部は基本的に担当の自衛官が修理できるように造らなくてはならないので、メンテナンスしやすいように造る高い技術が必要です。そこは商船との違いですかね。この会社で仕事しているとそんな技術が自然と身に付きます」(20代男性)



メシと風呂が最高

「昼の休憩時は仕出し弁当が多いんですが、380円くらいで安くて美味しいんです。他にも売店に選択肢があるし。あと、この造船所内には風呂があって、仕事が終わったあとはざばんと入って汗を流して帰宅できる。さっぱりして気持ちいいえ、電車通勤なんでそのまま飲みに行ったりできます」(30代男性)



風通しがいい会社

「ウチはタスクフォース型の組織なので、仕事を受注するとチームが組まれる感じで、〇×部に所属、というんじゃないんですよ。班長はいますが、世の中の会社の班長とはちと違う。人間関係の風通しがいいです」(40代男性)



子どもにTVで「あの船造った」と言える

「自衛艦とか海上保安庁とかの船はよく新聞やTVに出ますが、関わった船が映ったら子どもに『あれを造ったんだよ』と自慢します。造船業では、実際に家族が船を見る機会なんてなかなかないと思いますが、艦船やっていると、そういうところで満足感があります」(30代男性)



こんな人に ぴったりの仕事です

- 一生食べていける技能を身に着きたい人
- プラモで戦艦造るのが好き
- 造船業に興味がある初心者(研修制度あり)
- 溶接の資格を持つ経験者
- 3Dの図面に興味がある人

会社の日常を
のぞいてみた!

スケジュール

- 07:00 電車で出勤。通勤時間45分
- 07:45 着替えと準備
- 08:00 仕事開始朝礼と体操
- 10:00 トイレ休憩で一呼吸
- 12:00 昼休み
- 13:00 午後の仕事開始
- 15:00 仕事と安全のミーティングしながら休憩
- 17:00 仕事終了
- 17:30 翌日の準備をして帰路へ
- 18:15 帰宅

自衛隊の人に「今年もありがとう」と
言われます

船の「心臓」を
扱っています

株式会社鈴木工業



船の心臓 = 機関部分を据え付け メンテする究極の専門会社

車にも点検やオイル交換が必要のように、海の上ですべてをまかなう
船のメンテナンスは命を預かる大事な仕事。
鈴木工業はディーゼルやポンプといった船の心臓を健康にする会社です。



1.修理に入港している自衛艦。
2.船の定期点検では部品をバラバラにして洗浄し再度組立を行う
3.JUM磯子内の自社工場で作業する安全衛生責任者
4.全部洗浄点検すると、見違えるように調子が上がり、自衛隊員に感謝されるとか



こんな仕事です

いわば「艦船の車検ディーラー」。各種機関の修理と据え付けが仕事です。例えば自衛艦の艦内でディーゼルやパイプを細かいパーツに分解し船外に運び出して自社工場内で洗浄。フジツボなどをブラシでこすり落としたりします。洗浄済みのパーツは再び艦内で組立、異常がないかテスト運転を行います。



艦内でディーゼル機関を点検

各パーツは溶液やブラシを駆使して洗浄

会社情報 Company profile

会社名	(株)鈴木工業
業種	造船修理製造業
代表者	代表取締役 鈴木 明
会社住所	本社：神奈川県横浜須賀浦3-18-35 横浜事務所：神奈川県横浜市磯子区新杉田12番 JMU横浜協会3F
社員数	従業員数12名 協力会社 2社
平均年齢	30歳



採用情報 Recruit information

職種	艦船、官公庁船、一般商船等の主機、補機類全般の定期検査、年次検査等の修理業務
職務内容	内燃、ポンプ、諸弁等の検査工事及びメンテナンス
勤務地	ジャパン・マリン・ユナイテッド横浜事業所内その他
勤務時間	AM8:00~PM5:00(残業の場合もあり)
給与	当社規定に依り決定する(研修期間(約3か月)あり)
休日	週休二日制、夏季、冬季等連休有り(場合により休日出勤有り)
各種手当	交通費支給、社員手当、役職手当、休日出勤手当、残業手当等 夏季、冬季賞与
保険等	失業保険、社会保険、厚生年金等 退職金制度有り(当社規定による)
応募資格	満18歳～、未経験者歓迎
応募方法	履歴書送付の上、面接試験
問合せ先	本社 Tel & fax 046-801-1926 横浜事務所 Tel & fax 045-751-2589

突撃ライターが
ずばり社長に聞いた!

鈴木工業はどんな会社?

「艦船の機関を磨いて性能を上げる 船のお医者さん」

モナコの王子様から大手企業CEOまでいろんな社長を取材してきたライターが社長にインタビュー。
わかりやすく会社のことを説明してもらいました。



稼働している艦船内でポンプを分解・修理し、テストを行います。仕上がり状態は自衛隊側の検査官も立ち合いの元チェックするやりがいのある仕事です。

「当社のような仕事って造船を知らない人にはなかなか知られないんですよね。でも、機械いじりが好きな人や艦船マニアにはたまらない仕事であることは間違いないでしょう(笑)」と説明してくれたのは鈴木明社長です。

船のポンプやディーゼルを 修理点検

「新造船の時もポンプや機関の据え付けを行います。今多いのは、艦艇の機関のメンテナンスです。艦艇は1年に1回年次点検が義務付けられていて、5年に1回はさらにおおがかりな点検を行います。最短で4週間ですが、艦船なので、決められたスケジュール通りにポンプやディーゼルを最高の状態にメンテナンスします。そのために、ポンプなどを細かい部品に分解して船外に運び、工場内で溶剤を使うなどして洗浄

します。本当に細かい部品に分けるので、整理整頓がものすごく大事です」

艦船では、その性質上持ち出すもの、持ち込むものがネジ1本でも数字が違うと大問題になります。鈴木工業の自社工場はありえないくらいピカピカで整頓されています。「ツールの紛失も大問題ですから、ツールも各自鍵をかけてしまっています」と徹底した管理。

経験が宝になる

ポンプやディーゼル機関の点検には何か資格が必要なのでしょうか。「いえ、資格は何も必要ないです。作業的には玉掛けや天井クレーンなどが必要ですが、ポンプなどの前知識も必要ありません。機械が好きで、作業のための整理整頓が

苦にならない人なら大丈夫」
自衛艦の側も機関担当はその部門にずっといることが多いので、毎年顔を合わせることも多いとか。「『この前の点検で本当に調子よくなった』とか直接聞けます。やりがいです」



株式会社鈴木工業 鈴木明社長
「ピカピカになるのは最高です」

社員が
本音で語ります

ここに仕事のやりがい、あります

エンジンの試運転日にはヒゲを剃る

「分解、修理してエンジンやポンプのテストをする日は私のジンスでヒゲを剃ることにしています(笑)。気持ちの問題かと思いますが。何も問題なくエンジンが動くとホッとしますね。それが私のやりがいです」(30代男性)



整理整頓の鬼になる

「小さなネジ1個でも紛失しないように、工場内はいつもびなピカで整理整頓された状態です。そもそも元々バイクのエンジンいじりが好きでこの世界に入ったのですが、この作業環境はすごくプロらしくて最初感動しました」(20代男性)



自衛隊員の友達ができる

「入港中の自衛艦の隊員も同じ場所でランチを食べたりします。特に機関系エンジニアはずっとそれ専門でやってる担当者が多いので、個人的な友達もできました。磯子に入港してきたら、一緒にカラオケ行ったり飲んだりしています」(40代男性)



スケジュール通りに終わらせる

「艦船の修理やメンテナンスは出航スケジュールが決まっているので、絶対間に合わせます。それが誇りです。海水が徹ポンプの中なんか貝が付着して取れなくなったりして大変なんですけど、最後の『ありがとう』に救われます」(30代男性)



艦船を見送ると涙が出ることも

「5年に一度の点検の場合停泊期間も長いので、中の人とも友情をはぐくめます。無事終わって出航するとき、次に会えるのは1年後か、と思うと感慨深いです」(20代男性)



こんな人に ぴったりの仕事です

- 機械いじりが好きな人
- 艦船に興味がある人
- エンジン、ディーゼルなどが好きな人
- 整理整頓が苦にならない人
- 造船全般に興味がある人(研修制度あり)

会社の日常を
のぞいてみた!

スケジュール

- 07:30 電車でお勤め開始
- 08:00 朝礼と体操、仕事開始
- 10:00 休憩
- 12:00 昼休み
- 13:00 午後の仕事開始
- 15:00 休憩
- 17:00 仕事終了
- 17:30 翌日の準備をして帰路へ
- 18:00 帰宅